



西本さん 横田さん

ミハラシニア編集室ママライター(三原歴8年と17年)が行く

未来へつなぐ大切な絆

コロナ禍で祭りやイベントのあり方は大きく変化しましたが、開催する人の思いや地域の絆はずっと大切にしていきたい。市民ママライターがそんな思いや絆を独自取材します。

第9回

本町の半どん夜市

開催時期…6月下旬〜8月第1週までの
毎週土曜日

特徴…地元商栄会と町内会が盛り上げる
夏の風物詩



▲令和元年の半どん夜市

形を少しずつ変えたとしても、続けることが大切です。忘れられないようにできることを続けていきたいです。

緑側サロン「いろは」副運営委員長
岡田博司さん

「三原市公式note」
で記事掲載中!



子どもたちの
喜ぶ顔が見たい

参加する思いは
町を再びにぎやかに

三原の夏の夜の風物詩「半どん夜市」は、大正14年に本町で始まりました。かつては各商店が主体となっていた開催でしたが、商店の数が減少していく中、平成14年からは地元商栄会や町内会などをつくる「半どん夜市実行委員会」により開催されるようになりました。

18時頃になると、道沿いに設置した提灯に明かりがともり、何十年と変わらない情景が郷愁を誘います。

西国街道沿いにあるサロン「いろは」は、本町をにぎやかにしたい、という思いで7年前から夜市に参加しています。サロンで作った作品や古着のバザー、オリジナルのみそを使った田楽などを出品。メンバーは約30人いますが60〜70代が多いため、負担にならないように町内の人たちが、交代で担当するなど工夫しています。



第9回

市長

フェムテック



女性支援をLINEでスタート!

フェムテックという言葉を知っていますか。Female(女性)とTechnology(技術)を掛け合わせた造語で、女性が抱える健康課題をテクノロジーで解決するサービスです。

市では、女性が活躍できる環境づくりをめざし、全国に先駆けてフェムテックに着目し、令和3年度から取り組みを始めました。その様子をNHKの特集番組でも取り上げていただきました。

「LINEで女性サポート」(関連) 連13ページは、妊活や生理不順、不妊など女性の幅広い悩みに対して、専門家が個別に回答する取り組みです。女性特有の健康課題は、「打ち明けるのは勇気が必要」と思われる人でも、LINEを活用することで、他の人に会うことなく、自分のタイミングで直接専門家に聞くことができる点がメリットです。

ぜひ多くの人にLINE登録してもらい、正しい知識を持っていたいただきたいと思います。

Hella! MIHARA

三原市初!ハワイ出身の
国際交流員コラム

Vol.9



国際交流員
横川あいさん

料理を通して異文化を理解!

ハワイの家庭料理を通して異文化理解を深める講座『アロハクッキング』を開催しました。

今回は、日本にルーツがあるハワイ料理「スパムむすび」と「バター餅」を作りました。全て日本の材料を使ったので、本場の味を再現できるか不安でしたが、ハワイで食べていた味とそっくりに作ることができました。

また、ハワイの文化に溶け込んだ日本にルーツがある言葉も紹介しました。「おばけ」や「チキンスキン(鳥肌)」、広島弁の「はぶてる」などはハワイでも使われています。ほかにもよく使われる「ぼちゃ」という言葉も日本にルーツがあります。さて、「ぼちゃ」は何の意味でしょう? 答えはページ下をチェックしてくださいね。



●外国人相談窓口(市役所本庁4階)

問経営企画課(TEL)0848-67-6270(FAX)0848-64-7101)